

岩神地区地域福祉活動計画

岩神地区

岩神町一丁目、岩神町二丁目、岩神町三丁目、
岩神町四丁目、敷島町、緑が丘町



＜防災訓練＞



＜カレー食堂＞

健康寿命の延伸
世代間交流の充実、助け合いのある
住民主体のまちづくり

めざす地区の将来像

自然・文化・福祉が調和する、誰もが暮らしやすい地域
多世代がつながる場づくりと住民主体の活動が充実した地域
地域ぐるみの見守りと支え合いの実践が進む地域

地区の情報

住民が主体となった多彩な地域活動が展開されています。

地域づくり協議会では、三世代交流のボッチャ交流会やグラウンドゴルフ大会など世代を超えた交流の機会を継続的に開催しています。

地区社会福祉協議会では、NPOや企業、学生と連携した地域食堂やラジオ体操などを実施しています。

また、全町で実施されているふれあい・いきいきサロンやふれあい会食は、町ごとの特性を活かし、工夫して取り組まれています。日頃から顔の見える関係を築き、つながりを深めておくことで、災害時にも自然と支え合える地域を目指しています。

地区の課題

活動の担い手や参加者の高齢化・固定化

サロンや行事を支える担い手が高齢化しており、参加者も減少、あるいは同じ顔ぶれに固定化している。

若い世代との連携の不足

地域行事の情報が若い世代に行き届かず、子どもや若い世代の意見を活動に反映させる機会も少ない。

災害への備えや意識の差

地区の大部分が浸水想定区域に位置しており、災害時の備えが必要だが、住民間での災害に対する危機意識には差が見られる。

取り組むこと

地域資源の魅力を生かした活動の展開

敷島公園・利根川沿いなどの自然を生かした活動や企業と連携した活動を発展させていく

多世代交流の機会を増やす

子ども・若者との交流を促すイベントを通し、日ごろから顔の見える関係づくりを進める

情報や活動の見える化・発信

防災に関することやイベントの情報などを若い世代にも発信し、地域を知る・活動に参加するきっかけをつくる